平成20年度 事業報告書

学校法人 享栄学園

1.法人の概要

享栄学園の沿革

```
大正 2年 6月
          英習字簿記学会として名古屋市中区南呉服町に発足。
   4年 4月
          坂本市長命名の「享栄学園」認可(KYOEI BUSINESS COLLEGESと称す)
          実業学校令による乙種認可校となり、享栄貿易学校と校名変更。
   7年 10月
   10年 12月
           甲種商業学校として認可される。
          実業学校令による甲種認可校(5年)に昇格、享栄商業学校に校名変更。
   14年 4月
  14年
      9月
           名古屋市瑞穂区汐路町の現校舎位置に移転、鶴舞公園前に享栄商業タイピスト学校独立。
           財団法人享栄学園を設立、享栄女子商業学校に校名変更。
昭和 19年
      3月
  23年
      4月
          学制改革により享栄商業高等学校、享栄中学校として発足。
  26年
      3月
          学校法人享栄学園となる。
   29年
      4月
          享栄幼稚園設立。
  37年
      4月
          享栄商業高等学校に工業課程を開設。
   38年
      4月
          鈴鹿高等学校を三重県鈴鹿市に開校。(普通科・商業科)
   40年
      3月
          享栄中学校廃校。
  41年
      4月
          鈴鹿短期大学を三重県鈴鹿市に開校。(家政学科)
          享栄商業高等学校、校名を享栄高等学校と変更。
  42年 10月
  43年
      4月
          享栄高等学校に普通科開設。
   44年
          鈴鹿短期大学に家政第3部が認可。
      2月
   45年
      1月
          鈴鹿高等学校に定時制設置。
           享栄商業タイピスト学校を享栄タイピスト専門学校に校名変更。(専門課程・高等課程・
      4月
  51年
           一般課程設置)
   54年
      9月
          鈴鹿高等学校の定時制廃止。
   58年
      4月
          享栄高等学校栄徳分校を愛知県長久手町に開校。(普通科)
  59年
      2月
          鈴鹿短期大学に商経学科が認可。
  60年
      4月
          享栄高等学校栄徳分校が独立、栄徳高等学校として開校。(普通科)
      4月
          享栄タイピスト専門学校を専門学校享栄ビジネスカレッジと校名変更。
  60年
  61年
      4月
          鈴鹿中学校を三重県鈴鹿市に開校。
平成 1年
      3月
          鈴鹿短期大学、家政学科第3部廃止。
   2年
           専門学校享栄ビジネスカレッジ商業実務一般課程廃止。
      3月
   3年
      4月
          鈴鹿短期大学家政学科の名称を生活学科に変更。
           鈴鹿国際大学国際学部国際関係学科設置認可。
   5年 12月
   8年 5月
          鈴鹿短期大学商経学科廃止認可。
          鈴鹿国際大学大学院国際学研究科及び国際学部国際文化学科認可。
   9年 12月
   10年 4月
           鈴鹿短期大学、校名を鈴鹿国際大学短期大学部と変更認可。
   12年 10月
           鈴鹿国際大学国際学部観光学科設置認可。
   13年
     8月
          鈴鹿国際大学国際学部英米語学科設置認可。
   16年
     4月
           鈴鹿国際大学国際学部国際関係学科の名称を国際学科に変更。
  17年 3月
          享栄高等学校通信制課程廃止認可。
   17年
      3月
           専門学校享栄ビジネスカレッジ商業実務高等課程廃止認可。
   18年
      4月
          鈴鹿国際大学短期大学部、校名を鈴鹿短期大学と変更。
   20年
      4月
           鈴鹿国際大学国際学部の名称を国際人間科学部に変更。
```

設置する学校・学部・学科等及び学生数状況

(平成20年5月1日現在)

設置する学校	開校年度	学部・	学科等	入学定員数	収容定員数	現員数	摘要
鈴鹿国際大学	H10	大学院	国際学研究科	10	15	22	
	H6	国際人間科学部	国際学科	140	650	421	
	H10		国際文化学科	0	0	2	
	H13		観光学科	60	290	187	
	H14		英米語学科	0	80	34	
鈴鹿短期大学	S41	生活学科		150	280	248	
享栄高等学校	\$23	全日制課程		520	1,560	1,526	
鈴鹿高等学校	S38	全日制課程		640	1,920	1,309	
栄徳高等学校	S60	全日制課程		320	960	1,074	
鈴鹿中学校	S61			140	420	435	
享栄幼稚園	S29			69	209	239	
専門学校 享栄ビジネスカレッジ	S51	商業実務専	門課程	0	0	0	平成10年 募集停止

役員の概要

(平成20年5月1日現在)

定員数 理事 6~10名、監事 2名

区分		氏名	常勤・非常勤の別	摘要
理事長	堀	敬史	常勤	昭和53年11月 理事就任
				平成4年8月 常務理事就任
				平成12年7月 理事長就任
常務理事	近藤	新二	常勤	平成16年4月 理事就任
				平成20年4月 常務理事就任
理事	佐治	晴夫	常勤	平成17年4月 理事就任(鈴鹿短期大学学長)
理事	内田	憙男	常勤	平成20年5月 理事就任(栄徳高等学校校長)
理事	堀	敬紀	常勤	平成12年8月 理事就任(鈴鹿短期大学副学長)
理事	藤田	敏夫	非常勤	平成12年4月 理事就任
理事	近藤	信行	非常勤	平成13年4月 理事就任
理事	古川	敏治	非常勤	平成5年5月 理事就任
監事	木宮	和彦	非常勤	昭和46年9月 監事就任(常葉学園学園長)
監事	成田	稔男	非常勤	平成5年11月 監事就任(三河港筏株式会社取締役会長)

評議員の概要

(平成20年5月1日現在)

定員数 評議員 13~21名

氏名	主な現職等
堀 敬史	学校法人享栄学園理事長
堀 敬紀	学校法人享栄学園鈴鹿短期大学副学長
伊東 広悦	学校法人享栄学園学園本部鈴鹿事務局長
中野 潤三	学校法人享栄学園鈴鹿国際大学教授
杉山 元浩	学校法人享栄学園参与
澤田富雄	学校法人享栄学園参与
杉山 栄子	学校法人享栄学園享栄幼稚園長
本多 清治	中日コプロ株式会社代表取締役社長
山下 久夫	宗教法人小川神社宮司
近藤 信行	有限会社エイユウ代表取締役
植木 広次	東海典礼グループ代表
藤田 敏夫	
青山 米夫	
西坂 幹	
塩地 隆三	株式会社クレストンホ - ム代表取締役
丹羽 良治	株式会社丹羽鉄工所代表取締役

教職員の概要

(平成20年5月1日現在)

立7 88	教	員	職員		-k- 2 ∕2 ≐⊥	쓮双≐↓	合計	
部門	本務	兼務	本務	兼務	本務計	兼務計	口前	
鈴鹿国際大学	35	46	28	26	63	72	135	
鈴鹿短期大学	26	28	13	4	39	32	71	
享栄高等学校	76	39	12	4	88	43	131	
鈴鹿高等学校	78	43	6	8	84	51	135	
栄徳高等学校	57	14	9	2	66	16	82	
鈴鹿中学校	24	15	3	5	27	20	47	
享栄幼稚園	14	1	1	1	15	2	17	
享栄ビジネスカレッジ	0	0	0	0	0	0	0	
学園本部	0	0	8	0	8	0	8	
計	310	186	80	50	390	236	626	

2.事業の概要

事業の概要

享栄学園は創立者堀栄二氏の「誠実で信頼できる人に」の建学の精神を基に、実社会に 役立つ教育を実践している。

(1)鈴鹿国際大学

学内外で実施している公開講座等をひとつにまとめ、「Let's be International at SIU」と称し、生涯学習に努めた。平成21年度より国際学科のコース再編に向け、検討を行った。

(2)鈴鹿短期大学

学科編成のあり方及びコンセプトについて全学あげて取り組んできた。「生活コミュニケーション」をコンセプトとして共有し、研究・教育・地域活動全般にわたって更なる発展への基礎づくりを行った。

(3)享栄高等学校

土曜日セミナーを開催して9年目となり、講座の充実と地域連携を深めた。タウンサークルも8年目を迎え、地域交流活動の発展に努めた。部活動では、ボクシング部がインター杯で優勝した。又、漫画研究同好会が「第17回全国高等学校漫画選手権大会(漫画甲子園)」に出動した。

(4)鈴鹿高等学校

第 1 次施設時事業として、 クラブハウス竣工(平成20年12月19日) 屋内練習場(サブアリーナ)竣工(平成21年3月18日)するとともに、第2次施設整備事業(新校舎建設)を着工した。

類制度を改め、「、類」を「創造コース」、「類」を「探求コース」へ変更を行った。

(5) 栄徳高等学校

平成19年9月6日、本校駐車場にフェロシルト埋設の疑いありと新聞に掲載。工事業者等と協議し、ボーリング調査の結果、フェロシルトが使用されていたことが判明した。平成20年3月より、埋設撤去工事を開始、約11ヵ月におよぶ工事が行われ、平成21年2月14日に工事完了した。

部活動では全国大会に、ゴルフ・男子バレーボール・馬術・囲碁将棋・日本拳法同好会が出場した。

(6)鈴鹿中学校

研修旅行先を国内へ変更し、代わって短期語学研修(カナダ)を実施した。教員の人権教育の研修の一環として、人権PRの授業見学を実施するほか、研修旅行に平和学習を取り入れるなど、人権教育の推進を行った。

(7)享栄幼稚園

家族が参加しての体操、七夕、林間お泊り保育(阿智村) 運動会、芋焼き、作品展、 音楽会、雪遊び、生活発表会そしてお別れの会等を実施した。

事業の概要

(8) 学園本部

寄附行為の変更(第6条 理事定数関係)を行った。(認可日平成20年10月17日) 鈴鹿国際大学学則の一部変更(「日本語教員養成コース」の廃止と「日本語教員養成課 程」の新設)について(施行日 平成21年4月1日)

鈴鹿短期大学学則の一部変更(教育課程の変更に伴う学則変更)について(施行日 平成21年4月1日)

鈴鹿短期大学学則の一部変更(学科及び専攻の届出)について(施行日 平成22年4月1日)

享栄高等学校学則の一部変更(教育課程)を行った。

鈴鹿高等学校学則の一部変更(教育課程)を行った。(施行日 平成21年4月1日) 鈴鹿中学校学則の一部変更(1単位当たりの授業時間)を行った。(施行日 平成21 年4月1日)

享栄幼稚園園則の一部変更(入園検定料の新設と入園料の値下げ)を行った。(施行日 平成20年9月26日)

学園新任教員研修会を実施した。(8月1日)

学園事務研修会を実施した。(8月2日)

学園夏期研修会を実施した。(8月22日)

3.財務の概要

(1)決算の概要

単位:千円
i書 - 成21年3月31日
金額
2,663,287
136,710
6,564
2,113,969
132,000
1,031,919
12,557
288,896
1,312,100
514,838
1,139,524
1,201,355
1,065,721
9,216,730
4,147,240
997,203
317,369
41,326
1,086,580
650,893
44,747
1,557,564
230,691
365,390

単位:千円

消費収支計算書 自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日				
 科目				
学生生徒等納付金	2,663,287			
手数料	136,710			
寄付金	31,936			
補助金収入	2,113,969			
資産運用収入	132,000			
資産売却差額	26,992			
事業収入	12,557			
維収入	325,079			
帰属収入合計	5,442,530			
基本金組入額	434,734			
消費収入の部合計	5,007,796			
人件費支出	4,147,205			
教育研究経費	1,417,093			
管理経費	350,118			
借入金等利息	41,326			
資産処分差額	494,305			
徴収不能引当金繰入額	2,000			
徴収不能額	233			
消費支出の部合計	6,452,280			
消費収支差額	1,444,484			
当年度繰越消費収支超過額	1,444,484			
前年度繰越消費収支超過額	4,685,307			
基本金取崩額	29,094			
翌年度繰越消費収支超過額	6,100,697			

単位:千円

			1 1-1-1 1 3			
貸借対照表 平成21年3月31日現在						
科目	科目	金額				
土地	3,517,201	借入金 (注)	4,297,982			
建物	7,536,381	退職給与引当金	572,969			
構築物	664,837	前受金	514,838			
教育研究用機器備品	237,488	その他負債	628,411			
その他の機器備品	15,290	負債の部合計	6,014,200			
図書	543,820	基本金	18,781,918			
引当特定資産	1,661,628	消費収支差額の部合計	6,100,697			
その他固定資産	716,056					
現金預金	508,507					
未収入金 (注)	2,367,369					
その他流動資産	926,844					
資産の部合計	18,695,421	負債の部、基本金及び消費収支差額の部合計	18,695,421			

(注) 愛知県授業料軽減貸付金等(2,061,897千円)償還に要する財源に愛知県から全額補填を受ける

貸借対照表の状況

有形固定資産は鈴鹿高等学校の新校舎建設中のため、建設仮勘定が315,266千円増加した。また、 享栄高等学校の機械科棟建設、鈴鹿高等学校の屋内体育館建設、鈴鹿国際大学の学長宿舎売却等 により、学園全体で建物が25,433千円増加した。

無形固定資産については施設設備拡充及び減価償却引当特定資産をそれぞれ50,000千円計上した。 流動資産については、有価証券の評価損を454,746千円計上した。

借入金は、計画通り173,490千円返済し、新たに鈴鹿高等学校新校舎建設資金として323,000千円借り入れた。

基本金は、有形固定資産取得及び借入金の返済等により、405,640千円組入れた。

収支計算書の状況

当年度の帰属収入は5,442,530千円となり、前年度に比べ97,392千円の増収となった。 また消費支出は6,452,280千円となり、同比365,305千円となった。また、基本金を434,734千円 組入れ、以上の結果、消費収支差額は1,444,484千円の支出超過である。前年度より308,490千円 収支が悪化した。

学生生徒納付金については、前年度に比し76,472千円減額となった。これは前年度比在籍者数が 享栄高等学校及び鈴鹿中学校では増となったが、鈴鹿国際大学、鈴鹿短期大学及び鈴鹿高等学校で 減となったためである。

寄付金については、享栄高等学校へ車両の寄付及び栄徳高等学校へのプレハブ寄贈により、学園全体で前年度に比し26,836千円増額となった。

補助金については享栄高等学校の在籍者数の増による、愛知県からの経常費補助及び授業料軽減補助金(学生生徒納付金と相殺)の増により、学園全体で前年度に比し88,566千円増額となった。

資産運用収入及び資産売却差額については、保持する金融商品の配当及び売却が前年度に比して 円高傾向及び日経平均株価の下落等により減となり、学園全体で前年度に比し149,580千円減額と なった。

雑収入については、退職金財団からの退職金資金が学園全体で前年度に比し164,406千円の増額、 鈴鹿国際大学図書館蔵書の棚卸資産計上により雑収入が学園全体で前年度に比し41,011千円の 増額となった。

人件費支出については、前年度に比し195,118千円増額となった。これは前年度比教職員数の若干名の増、定期昇給による増及び退職金額の増となったためである。

教育研究経費、管理経費は前年度と横ばいである。

資産処分差額については、鈴鹿国際大学学長宿舎売却に伴い売却価格が取得価格を下回ったため、土地及び建物処分差額を計上した。また、前年度に比して円高傾向及び日経平均株価の下落等により金融商品の評価損を計上し、学園全体で前年度に比し171,006千円増額となった。

(2)経年比較

貸借対照表

(単位:千円)

		1			(-12.113)
	16年度末	17年度末	18年度末	19年度末	本年度末
固定資産	14,949,407	14,630,906	14,767,893	14,590,484	14,892,701
流動資産	5,782,636	5,633,326	5,492,897	4,731,279	3,802,720
資産の部合計	20,732,043	20,264,232	20,260,790	19,321,763	18,695,421
固定負債	4,268,019	3,999,920	4,260,723	4,158,886	4,055,984
流動負債	1,521,858	1,477,588	1,567,259	1,471,906	1,958,216
負債の部合計	5,789,877	5,477,508	5,827,982	5,630,792	6,014,200
基本金の部合計	17,466,493	17,727,894	17,982,121	18,376,278	18,781,918
消費収支差額の部合計	2,524,327	2,941,170	3,549,313	4,685,307	6,100,697
負債の部、基本金の部及び 消費収支差額の部合計	20,732,043	20,264,232	20,260,790	19,321,763	18,695,421

資金収支計算書

(単位:千円)

					(+ ± + 1 1 1
収入の部	16年度	17年度	18年度	19年度	本年度
学生生徒等納付金収入	2,838,782	2,845,153	2,783,679	2,739,760	2,663,287
手数料収入	144,163	144,185	143,626	137,227	136,710
寄付金収入	19,169	2,898	6,111	1,604	6,564
補助金収入	2,063,153	2,056,851	1,932,222	2,025,403	2,113,969
資産運用収入	119,744	154,130	177,797	256,667	132,000
資産売却収入	544,585	313,430	1,377,440	2,260,617	1,031,919
事業収入	7,899	10,630	7,941	8,589	12,557
雑収入	157,836	111,867	221,911	119,651	288,896
借入金等収入	349,963	362,893	1,002,540	753,345	1,312,100
前受金収入	507,935	546,684	524,921	506,447	514,838
その他の収入	709,998	702,506	607,963	1,436,457	1,139,524
資金収入調整勘定	1,145,118	991,070	1,089,054	1,033,451	1,201,355
前年度繰越支払資金	1,681,434	1,393,045	1,179,238	705,793	1,065,721
収入の部合計	7,999,543	7,653,202	8,876,335	9,918,109	9,216,730
支出の部	16年度	17年度	18年度	19年度	本年度
人件費支出	3,725,529	3,796,253	3,863,514	3,918,274	4,147,240
教育研究経費支出	924,701	941,958	979,710	981,454	997,203
管理経費支出	335,307	325,277	322,064	310,027	317,369
借入金等利息支出	33,642	31,734	34,798	43,690	41,326
借入金等返済支出	432,855	572,855	745,229	937,121	1,086,580
施設関係支出	118,547	56,686	518,266	199,611	650,893
設備関係支出	68,684	40,050	77,221	41,075	44,747
資産運用支出	950,641	623,366	1,715,028	2,351,008	1,557,564
その他の支出	195,745	217,496	175,561	287,042	230,691
資金支出調整勘定	179,153	131,711	260,849	216,914	365,390
次年度繰越支払資金	1,393,045	1,179,238	705,793	1,065,721	508,507
支出の部合計	7,999,543	7,653,202	8,876,335	9,918,109	9,216,730

消費収支計算書

(単位:千円)

					(単位:十円)
消費収入の部	16年度	17年度	18年度	19年度	本年度
学生生徒等納付金	2,838,782	2,845,153	2,783,679	2,739,760	2,663,287
手数料	144,163	144,185	143,626	137,227	136,710
寄付金	77,052	7,337	22,989	5,100	31,936
補助金収入	2,063,153	2,056,851	1,932,222	2,025,403	2,113,969
資産運用収入	119,744	154,130	177,797	256,667	132,000
資産売却差額	58,426	23,646	53,892	51,905	26,992
事業収入	7,899	10,630	7,941	8,589	12,557
雑収入	158,513	111,867	221,911	120,487	325,079
帰属収入合計	5,467,732	5,353,799	5,344,057	5,345,138	5,442,530
基本金組入額	273,921	265,248	254,227	394,157	434,734
消費収入の部合計	5,193,811	5,088,551	5,089,830	4,950,981	5,007,796
			Ī		
消費支出の部	16年度	17年度	18年度	19年度	本年度
人件費	3,741,540	3,710,490	3,857,539	3,952,087	4,147,205
教育研究経費	1,361,848	1,387,768	1,422,459	1,426,339	1,417,093
管理経費	374,147	354,740	351,295	337,445	350,118
借入金等利息	33,642	31,734	34,798	43,690	41,326
資産処分差額	27,169	22,484	29,747	323,299	494,305
徴収不能引当金繰入額	1,877	1,754	1,831	2,230	2,000
徴収不能額	373	271	304	1,885	233
消費支出の部合計	5,540,596	5,509,241	5,697,973	6,086,975	6,452,280
消費収支差額	346,785	420,690	608,143	1,135,994	1,444,484
当年度繰越消費収支超過額	346,785	420,690	608,143	1,135,994	1,444,484
前年度繰越消費収支超過額	2,177,542	2,524,327	2,941,170	3,549,313	4,685,307
基本金取崩額	0	3,847	0	0	29,094
翌年度繰越消費収支超過額	2,524,327	2,941,170	3,549,313	4,685,307	6,100,697

主な財務比率比較

(単位:%)

	比率名	算式	16年度末	17年度末	18年度末	19年度末	本年度末
ア	帰属収支差額比率	(帰属収入-消費支出)/帰属収入	-1.33%	-2.90%	-6.62%	-13.88%	-18.55%
1	消費収支比率	消費支出/消費収入	106.68%	108.27%	111.95%	122.94%	128.84%
ウ	学生生徒等納付金比率	学生生徒納付金/帰属収入	51.92%	53.14%	52.09%	51.26%	48.93%
ェ	人件費比率	人件費/帰属収入	68.43%	69.31%	72.18%	73.94%	76.20%
オ	教育研究経費比率	教育研究経費/帰属収入	24.91%	25.92%	26.62%	26.68%	26.04%
カ	自己資金構成比率	自己資金/総資産	72.07%	72.97%	71.24%	70.86%	67.83%
+	固定比率	固定資産/自己資金	100.05%	98.95%	102.32%	106.57%	117.44%
ク	固定長期適合率	固定資産/(自己資金+固定負債)	77.82%	77.88%	79.00%	81.74%	88.98%
ケ	流動比率	流動資産/流動負債	379.97%	381.25%	350.48%	321.44%	194.19%
コ	負債比率	総負債/自己資金	38.75%	37.04%	40.38%	41.13%	47.43%
サ	負債比率	総負債/自己資金	25.11%	23.45%	26.65%	26.62%	31.17%

愛知県授業料等軽減貸付金を除いた負債比率(償還に係る資金は愛知県が負担するため)

- ア 経営状況をあらわす。マイナスが大きいほど経営は窮迫する。
- イ 経営状況をあらわす。100%を超えると支出超過である。
- ウ 収入構成をあらわす。学生生徒納付金の帰属収入に占める割合である。
- エ 支出構成をあらわす。人件費の帰属収入に占める割合である。
- オ 支出構成をあらわす。教育研究経費の帰属収入に占める割合である。
- カ 自己資金の充実をあらわす。50%を割ると他人資金が上回る。
- キ 長期資金で固定資産が賄われているかをあらわす。
- ク 長期資金で固定資産が賄われているかをあらわす。100%以下で低いほうが望ましい。
- ケ 負債に備える資産の蓄積をあらわす。200%以上が優良である。
- コ 負債の割合をあらわす。100%以下で低いほうが望ましい。
- サ 弊学園における実質負債の割合をあらわす。

(3)その他

有価証券の状況 ア)有価証券の時価情報

(単位 円)

合計

		当年原	<u>隻(平成21年3月3</u>	1日)
種類	勘定科目	貸借対照表 計上額	時価	差額
	有価証券	110,823,883	125,640,000	14,816,117
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	減価償却引当 特定資産	44,620,000	46,810,000	2,190,000
(うち満期保有目的の債券)		(0)	(0)	(0)
	有価証券	796,600,807	602,837,321	193,763,486
	施設設備拡充 引当特定資産	100,000,000	100,000,000	0
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	減価償却引当 特定資産 国際交流基金	955,380,000	787,559,926	167,820,074
	国際交流基金 引当特定資産	210,000,000	154,593,259	55,406,741
(うち満期保有目的の債券)		(0)	(0)	(0)
	合計	2,217,424,690	1,817,440,506	399,984,184
(うち満期保有目的の債券)		(0)	(0)	(0)
時価のない有価証券	有価証券	3,000,000		
	合計	2,220,424,690		

イ)デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価損益

(単位 円)

対象物	種類	当年度(平成21年3月31日)					
		契約額等	契約額等のうち1年超	時価	評価損益		
金利スワップ	受取変動· 支払変動	1,000,000,000	1,000,000,000	31,662,249	31,662,249		
金利スワップ	受取変動· 支払変動	500,000,000	500,000,000	18,866,583	18,866,583		
金利スワップ	受取変動· 支払変動	1,000,000,000	1,000,000,000	42,214,771	42,214,771		
金利スワップ	受取変動· 支払変動	300,000,000	300,000,000	8,023,662	8,023,662		
金利スワップ	受取変動· 支払変動	500,000,000	500,000,000	24,589,075	24,589,075		
合計				125,356,340	125,356,340		

(注1)時価の算定方法

取引銀行、証券会社から提示された価格によっている。

- (注2)金利スワップ取引の契約額等は、当該取引における想定元本であり、 当該契約額等が金利スワップ取引に係る市場リスクもしくは信用リスクを示すものではありません。
- (注3)通貨オプション及び金利スワップ取引の利用目的は投機目的である。

借入金の状況

借入先	借入残高	利率	返済期限	担保	備考
日本私立学校 振興・共済事 業団	5,550,000	5.1000%	H21.9.20	会 鈴鹿高等学校 土地	会 設鹿高等高校 学生ホール建築資金
	15,000,000	5.5000%	H23.9.20	栄徳高等学校・享 栄高等学校 土地	鈴鹿短期大学 学生ホール建築資金
	326,620,000	1.3000%	H34.9.15	栄徳高等学校 土地・建物	享栄高等高校 校舎建築資金
	750,540,000	1.5000%	H35.3.15	栄徳高等学校 土地・建物	享栄高等高校 校舎建築資金
小計	1,097,710,000				
	356,000,000	1.5000%	H24.10.31	定期預金	鈴鹿高等高校 記念会館建築資金
百五銀行	459,375,000	2.3000%	H32.9.30	定期預金	鈴鹿中学校 校舎建築資金
	323,000,000	1.9000%	H22.3.5	なし	鈴鹿高等学校 校舎建築資金
小計	1,138,375,000				
	13,698,770			H11年度愛知県授業料 軽減貸付金	
	39,208,848			H12年度愛知県授業料 軽減貸付金	
	70,444,644			H13年度愛知県授業料 軽減貸付金	
	106,918,620			H14年度愛知県授業料 軽減貸付金	
	184,145,430	(ALC)	10	H15年度愛知県授業料 軽減貸付金	
愛知県私学振	262,472,461		する財源は、 為に基づき、	H16年度愛知県授業料 軽減貸付金	
興事業団	317,043,558		真を受ける。	H17年度愛知県授業料 軽減貸付金	
	139,250	ו בני אטנייין	KISAK O 0	H17年度愛知県施設設備 整備費貸付金	
	323,968,895			H18年度愛知県授業料 軽減貸付金	
	2,555,000			H18年度愛知県施設設備 整備費貸付金	
	352,201,600			H19年度愛知県授業料 軽減貸付金	
	389,100,200	<u> </u>			H20年度愛知県授業料 軽減貸付金
小計	2,061,897,276				
総計	4,297,982,276				

関連当事者等との取引の状況

ア)出資会社

会社等の名称	事業内容	資本金等	出資割合	取引の内容	保証債務等
有限会社 エイユウ	スクール バス運行	5,000,000	60%	業務委託年間6200万円	なし

イ)関連当事者

会社等の名称	資本金等	出資割合	取引の内容	摘要
堀 敬文			土地利用料収入 年間240万円	役員の近親者